

## 部会のテーマ及び進め方について

## 1. 合同部会①構成員の変更について

別紙のとおり要望があった5構成員を加える

資料1

## 2. 具体的テーマについて

## (1) アクセス道路ネットワーク化及び遊水地内道路案内サインについて

①前回の3つのグループワーク結果を全体で1つにまとめた内容を基に、再度、グループに分かれ、部会として取り組める課題への具体的な対応策等について意見交換を行う。

資料2

②グループ毎の意見を発表した後、質疑応答を行う。

③次回以降の合同部会においては、グループワークの結果から部会として取り組むことができるものに絞り込み、現地の実態調査等による検討を含めて具体的な対応方針について、全体での議論を進めていくものとする。

## ④その他 参考資料

- ・渡良瀬遊水地ガイドマップ（アクリメーション振興財団）参考2
- ・渡良瀬遊水地ハートランドマップ（栃木市）参考3

## (2) 「ヨシズの利用促進」について

## ①各自治体における取組み事例の紹介

## 小山市

- ・小中学校の各教室へのヨシズの導入。
- ・市民対象にヨシズ購入の補助制度を実施。
- ・イベント等において、ミニヨシズづくり体験の実施。
- ・「ラムサール渡良瀬遊水地よしず」として、おやまブランドに選定。

## 栃木市

- ・平成25年度に小中学校全40校に各校3枚ずつ合計120枚導入。
- ・庁舎（藤岡総合支所など）での使用と展示等での利用。
- ・イベント等において、ミニヨシズづくり体験や生産者の協力によるヨシズ編みの手編み実演及び体験を実施。
- ・今年度、ミニヨシズづくりやヨシ紙漉きなどを指導できる人材を育成するため、ヨシ細工指導スタッフ養成講座を開催。

## 野木町

- ・小学校の各教室へのヨシズの導入。  
(約8年前から購入し、現在2校の各教室など24箇所で使用)
- ・平成28年度 庁舎に導入。(6カ所で使用)
- ・イベント等において、ミニよしずづくり体験の実施。
- ・「遊水地のよしず」として、「野木ブランド」に認定。

## ②今後の方向性

今後も、このような取組みを継続して、渡良瀬遊水地産のヨシを使ったよしずのPRと、学校等への導入による地域の子ども達を含めた普及・啓発について、関係機関へ協力を呼びかけることにより、ヨシズの利用促進を図る。

## (3) 渡良瀬遊水地ロゴマーク選定について

### ①ロゴマークの使用目的について

- ・当面は、ロゴマークの使用目的は各構成団体が実施するイベント（事業）PRのための広報活動のみに使用する。
- ・将来は、一般の人に遊水地を良く知ってもらうことが目的なので、デザイン等を変えない範囲で構成団体以外誰でも使えるような使用要綱を検討する。

### ②ロゴマークの1次審査及び2次審査について 資料3

- ・11月9日（水）までの構成員（29団体）による1次審査の結果、審査対象作品数（124点）より得票数上位10作品を対象とし、現在2次審査を実施中。